



# 合併方針決定

## 岐阜市などの合併検討協議会に参加

町では、一月三十日から二月十日にかけて、笠松町の将来の方向性を決める判断材料とするため、二〇歳以上の方を対象に「合併は必要か」「合併ならどこと合併したらよいか」をお聞きする『市町村合併に関するアンケート』を実施しました。

アンケート調査は、郵送で各世帯に合併に関する参考資料(笠松町の未来)と一緒にアンケート回答用紙(ハガキ)をお届けし、そのハガキにより回答をいただきました。有効送付枚数、一七、四六二枚に対し、回答いただいた数は一〇、二四九枚で、回収率は五八・六九パーセントでした。

合併問題に対する町民の意識は、「岐阜市と合併」が四九・一三％、「笠松町単独」が三三・九二％、「各務原市と合併」が一四・七六％という結果でありました。

なお、地域別の意識結果お

よび回収率は表1のとおりです。

町では、町民の皆様の声であるアンケートの結果を、厳粛に受けとめて、二月十三日に町議会に報告し、町議会の承認のもと岐阜市を中心に構成される二市二町の協議会へ参加する方針を決定しました。

また、町民の皆様には、この方針決定を説明するため、二月十五日から十八日まで、中央公民館、総合会館、松枝公民館の三会場で四回「町の方針説明会」を実施しました。

町長は、説明のなかで、「前回の説明会でお話ししましたように、岐阜市との合併は基本的には、編入合併であると考えられます。しかし、細江岐阜市長が提唱された合併五原則『一、相手の自治体とは対等な気持ちで話し合う。二、相手の自治体の意向を十分尊重する。三、相手の自治体の庁舎は分庁舎的機能

を持ち、従来の行政サービスの維持に努める。四、相手のまちの文化、伝統を重んじる。五、将来ビジョンを共有する』のつとめ、今後の郷土の発展と町民の皆さんの幸せのため、岐阜市との合併協議会に望み、サービスの低下、負担の増加など激変が避けられるようしっかりと主張し、調整に全力を傾注する決意です」との説明を行いました。

会場からは、今後、合併検討協議会で決められた内容についてこのような説明会を開催し、情報を公開して欲しい旨の質問が出され、町長は、「この説明会が最後ではなくこれから始まる話し合いの内容については、説明会を開催したり、町広報紙やホームページなどに掲載し、随時町民の皆様にご報告をし、ご意見をいただきますので、ご理解とご協力願います」と答えました。